

### 3月月例山行 筑波山に参加して

—令和4年3月12日(土) 9人参加—

西の富士、東の筑波と称される標高 877mの筑波山。関東平野で唯一の日本百名山で、百名山の中で一番低い山です。ちょっと物足りないかなと思われる方も多いと思いますが、トレーニングとして登られている方も多い山。登山コースも多く標識も豊富です。

梅林まつり期間で駐車場も混んでるかな?せっかくの筑波山、1往復じゃ勿体ないと思い早朝6時に埼玉県久喜市の自宅を出発。御幸ヶ原コースで男体山往復を計画-実行。

7時半登山開始9時40分下山完了。(あまり褒められたことではないですが、1人筑波山も楽しみました)10時の集合ギリギリで皆さんと合流。今回の参加者 CL 東さん、稲越さん、坂倉さん、小田さん、立原さん、渡辺徹也さん、町田さん、大野さんの9名で白雲橋コースで登山開始。神社で登山の無事を祈願し、女体山山頂を目指します。



登り始めは階段あり、岩場ありの山林の中。稲越さんに指導いただき、足を運びやすいルートを考えながらゆっくりと登ります。雨女と自称する東さん参加の山行なのに今日は恐ろしいくらいの晴天……。 (すみません。) 熱中症にならないよう水分補給も衣服調整の時間もしっかりと、とりながら弁慶茶屋跡に11時半頃到着。ここからがこのコースの素晴らしい見どころ学びどころが目白押しです。

頭上の石が今にも落ちそうで、恐れおののいた弁慶が「七戻り」したといわれている弁慶七戻り。岩を抜けることで、生まれた姿に立ち返ることを意味している母の胎内くぐり。



陰陽石、出船入船、北斗岩、屏風岩、大仏岩にガマ石など数々の奇岩に感動し、はしゃぎ、驚き、女体山山頂直下の渋滞にも大きな心でゆずりあいながら、和気あいあいと、テンション高めの山行。天浮橋を渡り、展望はなくとも大盛況の女体山山頂に到着し、支部旗とともに記念撮影。



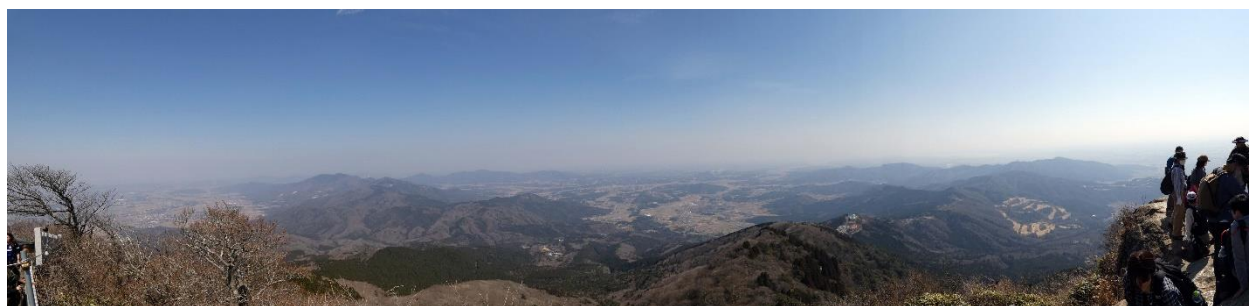


山頂の女体山御本殿に祀られている筑波女大神に手を合わせ、12時半昼休憩となりました。およそ30分の休憩ののち、山頂連絡路で男体山山頂を目指します。女体山山頂ほどではありませんが、こちらも大盛況。男体山山頂に祀られている、筑波男大神に手を合わせ証拠写真を撮り、下山開始です。

下山は御幸ヶ原コースでケーブルカー沿いを下ります。杉の巨木の中を岩場に気を付けながら、子供のようにケーブルカーに感動しながら、疲れた足をいたわり、時には軽くずっこけながら慎重に下山し、2時半ゴール。怪我人もなく無事に解散できました。

解散後はそれぞれ梅林まつりや名物を堪能して帰路に着きました。

お疲れさまでした。(那須)



女体山 山頂 View